

アンナプルナ山群 カン・ラ(五三二二m)

岩S

アンナプルナ山群へは八回
出かけており、一九九九年に
内院を訪れたのを皮切りに、
トルン・ラ北のプルケン峰、
フーン・ヒル、ティリチエ湖、
ツロブギン峠は二度、コルチ
ヨン・ピーク、コプラ・ダン
ダを訪れて、いろいろな姿の
山群を撮ってきた。今回は北
側にある標高五三二二mのカ
ン・ラ(Kang・La)に
連泊して、アンナプルナ山群
を北側から撮ることで計画し
た。

ネパールも車道がどんどん
延長して造られて、カトマン
ズから二日でチャーメまで車
で入る。(マナンの少し先まで
入れるそうだ)三日目からト

レッキングを開始、ティリチ
エ湖を訪れた八年前の記憶は
あまり残っていない。が、ロ
ッジの数がかなり増えたよう
だ。ピサンから北側の斜面上
部をトラバースする道に入る
と、**㊦**峰、**㊧**峰、**㊨**峰、ガン
ガプルナなどの展望が開ける。
ナワル(三六六〇m)で連泊
して順応後、約四三〇〇mの
カルカで一泊して標高差約一
〇〇〇mの急登を登る。峠の
手前はガラ場で三〇〇四〇度
(最後は四五度位)の登り、
高度もあって少々ヨレヨレに
なりながら峠に到着する。
峠を超えて少し下り、トレ
ッキング道を離れて北西に登
り返して小さなボカリ(湖)

のある場所にテントを設営す
る(標高約五四五〇m)。早速、
歩いて十分位の稜線に上る。
目の前にアンナプルナ山群が
ドーンと望める。左からラム
ジュン・ヒマール、**㊩**峰、**㊪**
峰、**㊫**峰、ガンガプルナ、**㊬**
峰、ロック・ノアール、ティ
リツォ・ヒマール、遠くにダ
ウラギリ一峰と展望は抜群だ。
ただ、此所までくる間に感じ
たことは、**㊭**峰は逆光気味で
切れ落ちた北壁に光が当たる
のは午前中の僅かな時間のみ
で、夕焼けも今一だった。一
方北側はチュルー・(E、F/
E)、氷河を従えた無名峰の五
七〇〇m〜五九〇〇mの山々
が望める。峠の方に少し戻っ
て東側を望むと、ギャジ・カ
ン、カン・グルー、マナスル、
ピーク二九、ヒマーン・チュ
リー、さらに谷筋のトレッキ
ング道にカンラ・フェデーの

ロッジが望める。

三連泊して早朝五時から朝
焼けの撮影を始め、午前中は
近くの稜線を歩きながら山々
を撮ってきた。ただ、夕焼け
は基本的に逆光で**㊭**峰のみを
撮るが、今一だった。マナス
ル山群は夕焼けだが、雲が取
れずにさらに少し遠くてうま
く撮れなかった。また、標高
が五四〇〇mを超えているの
で流石に朝は寒くて、テント
内のペットボトルの水が凍っ
ていた。(―一〇℃だった)

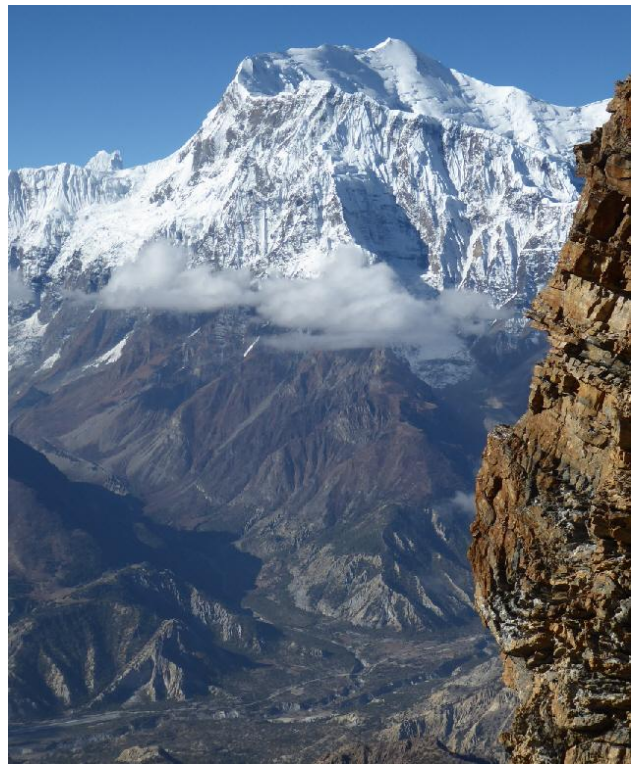
写真もほぼ撮り終えて四日
目に下山する。峠まで戻り、
ザレたガラ場の急坂を慎重に
下る。雪が残っているとスリ
ップ・滑落しそうな場所だ。
どんどん下る。膝が笑い出す。
往路で泊まったカルカの水場
は凍っていた。やっとナウル
に帰り着きほっとする。予定
より一日早く降りたので次の



←

Kang・La（峠にて）

撮影地マナスルのビムタンまでのんびりと歩く。翌日の三日間は私も含めてガイド、ポーター共に足の筋肉痛で下りは顔をしかめながら歩いた。



→

Annapurna III 峰 (7555m)
(Kang・La にて)



←

Kang・La 南側
(Annapurna 山群)

マナスル山群・ビムタン(三五九〇m)

岩S

一月〇八日～一三日

アンナプルナのカン・ラから戻り、ダラパニからマナスル山群に入り二日でビムタンに到着する。マナスル山群は三度訪れていて、二〇〇一年にバーラポアリ、二〇〇五年にガネッシュ・ヒマールを望んだ後にラルキャ・ラを越えて一周した。さらに二〇一六年春にはチューリン・コーラを遡りバウダー・ピークとヒマール・チュリー眺め、さらにプンギエン氷河からのマナスルとピーク二九を撮る予定で通常コース意外に少し脇道に入って歩いてきた。が、あいにくの悪天候でプンギエン氷河ではシャッターを切れない

かった。

今回はマナスル山群の西側にあるビムタンでは、一年前に訪れた時の撮り残しをしなくては計画する。ビムタンで共に写真を撮りに来たW氏と合流する。彼はマナスルを一周し、昨日到着したとのこと。再会を喜び合う。W氏と共に到着した初日は北側のモレーンに上がりチェオ・ヒマール、パンバリー・ヒマール、マナスルなどの夕焼けを撮る。二日目の朝は同じ場所ですり足で、ギヤジカン、チェオ・ヒマールの朝焼けと氷河に陽が差し込むまで粘って撮る。二日目の午後から撮影ポイントを探してモレーンをウロウロ

して、朝焼けと夕焼けのポイントを探して歩く。このポイントで二日目の夕焼け、三日目の朝焼けを撮る。この日にW氏は一足早く下山していった。三日目の夕焼けはポカリ(池)にマナスルと北峰が映る写真を撮る。

四日目、思い残すことなく撮れたので下山を始める。用意したフィルムも使い果たして充実した気持ちでカトマンズへ向かう。





←

Manasulu North(7157m)



→

Manasulu(8163m)

前半のカン・ラの日程

南与野 19:47ー赤羽 20:05、20:10ー浜松町 20:39、20:45ー羽田空港国際線ビル
21:04、0:20ー (TG661) ー (機) ーBKK 4:50、
10:15ー (TG319) ーKTM 12:25、(H) Drive to Besishaar (H) Drive to Chame (L)
Trek to Low Pisang (L) Trek to
Nawal (L2) Trek to Ngawal Kharka (T) Trek to Khangla Bhanjyang Pass (T3)
Trek to Gyaru (L) Trek to Dhikur Pokhari (L)
Trek to Thanchwk (L) Trek to Dharapani (L) Manaslu へ

後半のビムタンの日程

Annapurna から Dharapani (L) Trek to Yak Kharka (L) Trek to Bimtang (L3)
Trek to Gho (L) Trek to
Dharapani (L) Drive to Besishar (L) Drive to KTM (H3) 13:55ー (TG320) ー
BKK18:30、23:15ー (TG682) ー (機) ー羽田 6:55、
ー浜松町ー赤羽ー南与野